

激動の情勢、明るくおおらかに8年目の運動をすすめよう

私たちは昨年3つの座標軸を確認し、「“座標軸”を基本に革新懇運動を広げよう」と7年目の運動をスタートしました。

昨年6月に発足した著名人9氏による『9条の会』は、全国各界で3,000を超す『会』の結成に発展し、9条を守ることが大きな世論になりつつあります。

私たちも『9条の会』アピールに連帯し、新たな挑戦に踏み出しました。

「損害保険産業は平和産業です。憲法の改悪に反対し、9条を守ることが求めます」の国会請願署名の呼びかけは、損保産業の社会的責任を明らかにし、かつ損害保険に従事している者の平和への思いがこめられています。

3月から取り組んだこの署名運動は、職場の仲間との対話のきっかけとなり、職制や代理店さんからも賛同を得る幅広い取り組みとなりました。多くの会員が自らの生活のネットワークを通じて呼びかけをひろげ、主体的にこの取組を展開するという新たな経験となりました。10月末には6,500筆を突破し、全国革新懇を通じて国会に提出しました。

今年の夏は、戦後・被爆60年の節目でした。私たちは三度(みたび)、品川正治さんを講師に招き『21世紀の世界平和を広島で考える』講演会を行ないました。この集会は、6月に発足した「損保9条の会」(東京)をはじめ全国9団体の共催により「損保全国平和交流集会」として開催され、全国から150名の参加で大きな成功をおさめました。私たちも事務局として初めての貴重な経験をすることができました。

27年にもおよぶ朝日闘争は、この9月完全勝利を勝ち取りました。私たちは結成以来「損保産業の民主的発展のためには労使問題をかかえないことが大切である」と位置づけ、朝日の仲間のたたかいに連帯し、支援してきました。私たちも『関西 朝日火災争議を勝たせる会』に参画しました。毎月の統一行動には多くの会員が参加し、この完全勝利に大きな喜びと感動を得ました。

2002年4月から開設したホームページは現在6,700のアクセスに到達しています。全国の仲間への損保革新懇運動の情報発信の役割がますます重要になっています。

私たちは第7回総会アピールで、「巨大損保会社は際限のない過当競争とシェア競争に明け暮れ、大規模なりストラ・人減らしを進めています」と指摘してきました。今、損保では生保に続き「保険金の不払い」が大きな社会問題になっています。国民・消費者不在の商品(特約)乱開発・乱売競争と、合理化・効率化の名による人員削減と雇用の流動化によってもたらされた職場の荒廃がその背景にあります。

さらに契約者にとって身近な存在として保険募集を担ってきた外勤労働者に対して制度廃止攻撃がかけられています。永く産業を支え、産業の精神を伝えてきた外勤労働者の人生と誇りをかけたたたかいが始まっています。

私たちは損保産業で働くすべての人たちの雇用と労働条件を守り、損保産業の民主的な発展を願う立場から、たたかう仲間と協力・共同していきます。

私たちは引き続き損保の社会的責任と働く者すべてが大切にされるルールの確立を強く求めていきます。

本日第8回定例総会にあたりあらためて、3つの座標軸をかかげ運動をより発展させることをよびかけるものです。

- (1) 損害保険産業は世界の平和や日本経済の健全な発展と国民生活の向上と共に成長し、この発展と向上を支える産業であること
- (2) 産業の精神である「一人は万人のために、万人は一人のために」を原点に、社会性・公共性を発揮する産業として発展し、国民生活の安全と安心に役立つこと
- (3) 損害保険従事者の願いは産業の誇りを持って働きがいのある生活と人生を送ること

9月の総選挙の結果、与党が3分の2を占めるという新たな情勢が生まれました。すでに憲法・税金・社会保障・教育など、平和と民主主義を破壊し、国民の暮らしと将来を危うくする政策と方向が明らかになっています。

小泉「改革」とは、財界直結、日本経団連御用達の「改革」に他なりません。二宮厚美教授が指摘されているように、財界の利潤第一主義が、利潤追求の妨害者である「憲法体制」を今まさに破壊しようとしています。

損保産業もまた「利潤」のみが至上の価値となり、「勝ち組」「負け組」へ無理やり淘汰される中で、多くの職場が、仲間同士が支えあうことのできない息詰る状況になっています。その行きつく先が憲法改悪なのです。モノの言えない職場は、他国に軍隊を送り他国民を殺すことにまっすぐつながっていきます。そんな産業・職場でいいのか？そんな日本を未来に残すのか？私たち損保に働く一人ひとりに問われています。

激動の情勢の中、私たちは広範な人びととともに、世界と日本の平和と民主主義、損保産業の民主化のためになおいつそう奮闘することを呼びかけるものです。

2005年11月7日

大阪損保革新懇第8回総会